

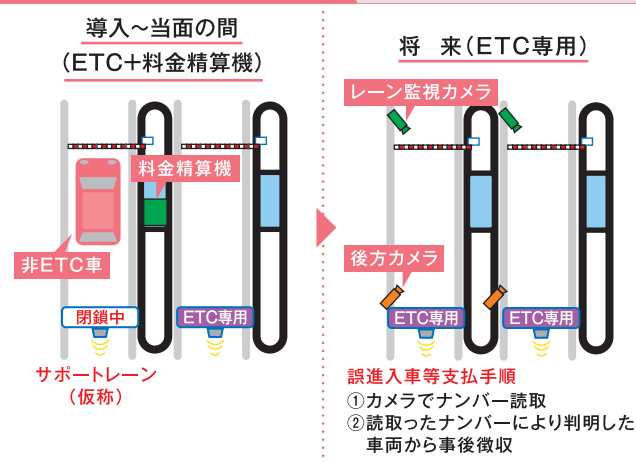
## ■料金所のキャッシュレス化・タッチレス化

お客さま・社会のニーズに適応した料金収受を推進します。

- ETC専用化等に取り組み、料金所のキャッシュレス化・タッチレス化を進めていきます。
- タッチレス化等に資する新たな料金精算機の活用により、お客さまの利便性向上や効率的な料金所運営体制の構築に取り組みます。

### ETC専用化等への取り組み

#### ETC専用化の運用イメージ



#### ETC専用化等のロードマップ

都市部は5年、地方部は10年程度での概成を目指します

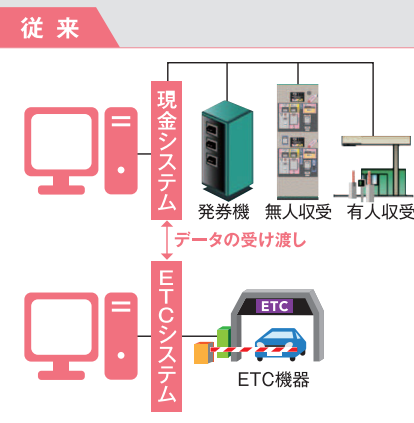
都市部(※1)	年度									
料金所数(※2)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2030頃(R12頃)	都市部において5年後概成	
94	導入準備(※3)						近畿圏(京阪神地区及び京奈和道の内側) 順次拡大(70箇所程度) 順次拡大→全線			

地方部	年度									
料金所数(※2)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2030頃(R12頃)	地方部を含めて10年後概成	
339	導入準備(※3)						数カ所導入(運用状況や各地域の特性等を考慮しつつ順次拡大) 全線			

※1 令和7年4月に開催される予定の「大阪・関西万博」への影響も考慮し、適時変更の可能性  
 ※2 令和2年12月1日現在の既存料金所のうちETC専用運用されていない課金料金所数  
 ※3 カメラ等の設置や関係機関との協議等

### 新たな料金精算機の活用



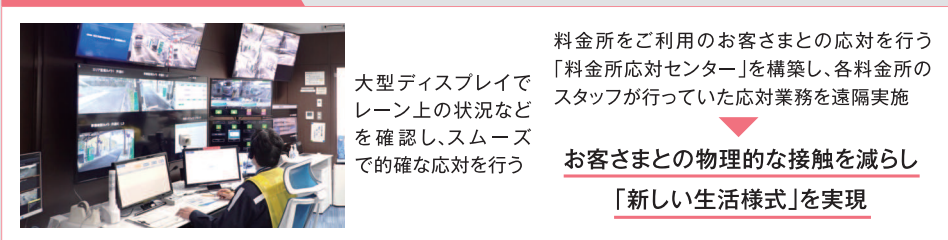
#### 新たな料金精算機



### お客さま対応の集約化



#### 料金所対応センター



## ■道路情報提供の高度化

お客さまのニーズに応じた多様な情報を提供します。

- ハイウェイ交通情報サービスアプリHighwayをリニューアルし、コンテンツの拡充による新たなサービスを提供します。

アイハイウェイへアクセス!



### コンテンツのイメージ

- 出発前 出発時間の検討、経路の選択
- 出発後 混雑状況の確認



ニーズ調査  
▶コンテンツ拡充

#### 例えばこんなシーンで

レストラン予約・メニューの事前注文

駐車場の予約サービス

観光・イベント情報

渋滞予測を踏まえたリアルタイムのルート案内

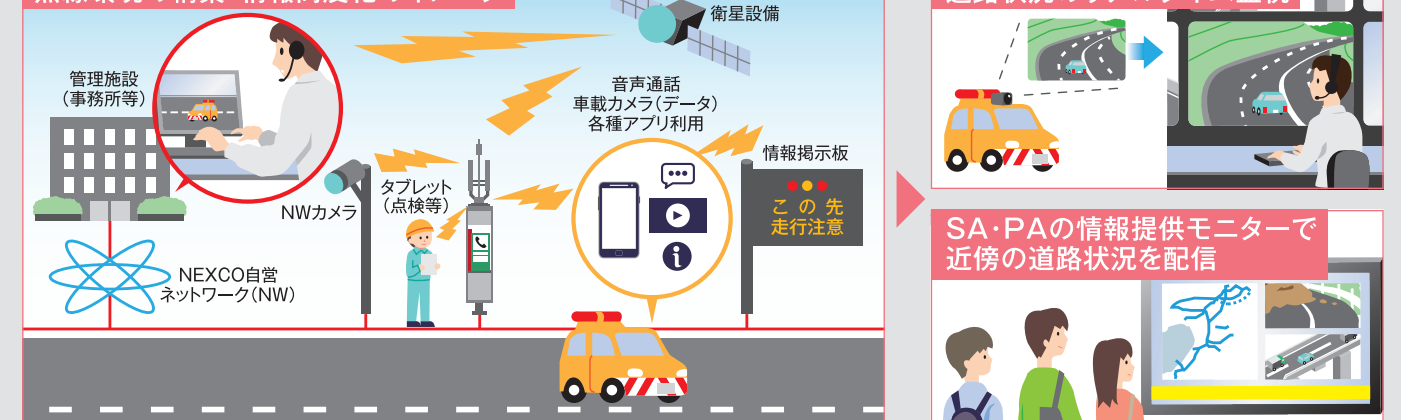
上記のほかSA・PAのおすすめ情報等をご提供

## ■通信ネットワークの進化

自営無線通信により、道路管理情報を高度化するとともにお客さまが安心して通行いただける環境を構築します。

- 動画や位置情報を迅速に共有できる大容量の自営無線通信環境を構築します。
- 路上端末設備のケーブルレス化により、災害時にも持続可能な道路情報の収集・提供の実現を目指します。
- SA・PAの情報提供モニターでの道路状況の動画配信などに活用します。

### 無線環境の構築・情報高度化のイメージ



01 高速道路の安全・安心をいつまでも守り抜く

02 多発する自然災害から地域と暮らしを守り抜く

03 新しいモビリティ社会に向けて高速道路を進化させる

04 高速道路の顧客体験価値を高める

05 持続的に進化させる企業を目指す